



2019年5月9日

各位

会社名: 富士石油株式会社  
 代表者名: 取締役社長 柴生田 敦夫  
 (コード番号: 5017 東証第一部)  
 問合せ先: 総務部 IR・広報グループ 祖父江 高明  
 TEL: (03) 5462-7803  
 URL: <http://www.foc.co.jp/>

### 2019年3月期通期業績予想値と実績値の差異等に関するお知らせ

2019年2月8日に公表の2019年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異の発生等について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年2月8日発表)	555,200	4,000	2,900	1,700	22.06
今回発表実績(B)	541,640	4,876	3,599	2,896	37.59
増減額(B-A)	△13,559	876	699	1,196	
増減率(%)	△2.4	21.9	24.1	70.4	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	423,772	11,188	8,633	7,945	103.11

#### 2. 差異の理由

前回の予想は、第4四半期平均の原油価格(ドバイ原油)を 60 ドル/バレル、為替レートを 110 円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、63.5ドル/バレル、110.2円/ドルとなりました。

これにより、在庫影響による原価押し下げ要因が前回予想に比べ 13 億円拡大し 23 億円となったこと等から、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を上回る結果となりました。

### 3. 袖ヶ浦製油所停電事故の業績への影響について

「台風 24 号による停電に伴う主要装置の停止と再稼働に関するお知らせ」(2018 年 11 月 8 日発表)および「停電事故後の装置再稼働状況等について」(同月 14 日発表)でお知らせいたしました内容に関し、当該事故の業績への影響について以下のとおりご報告いたします。

#### 2019 年3月期 通期連結業績への影響額

	金額(億円)	内容
営業利益の減少	13	数量要因
	17	原価要因
特別損失	2	装置等の補修工事費用

以上